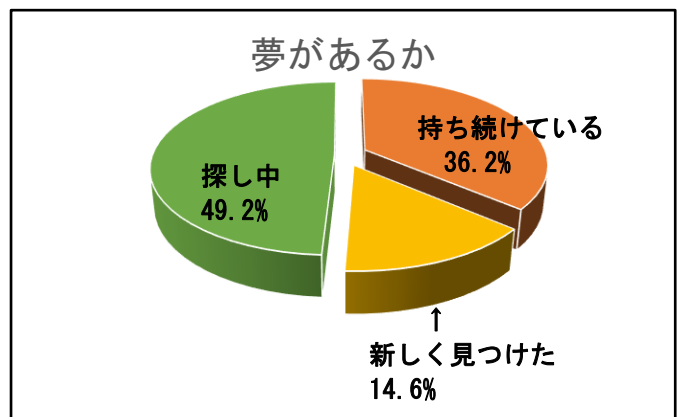




大中生よ、夢を持って

一富士二鷹三茄子——。古来、初夢で見ると縁起の良いとされているものですが、私など未だあやかたためしがありません。元日の夜、今年こそはと気を入れて眠りにつくのですが、初夢などどこ吹く風。翌朝、目覚めては意気消沈し、一年が始まるのが常です。

さて、それは睡眠中の夢の話ですが、現実を生きる上での夢は見るものではなく、抱き追い求めるものです。その夢について、改めて2学期末に大中生にアンケートをとったところ、「1学期と同じ夢を持ち続けている」が36.2%、「2学期になってから新たに夢を見つけた」が14.6%、「まだ探している最中」が49.2%でした。夢の有無が、それぞれ半分ずつという状況です。将来的な職業に限らず、どんな生き方をしたいのか、どんな大人になりたいのか……。夢を定めるのにじっくりと時間をかけることも大切ですし、一つに限らず様々な夢を抱くことがあってもよいと思います。ただし、自分の未来に何ら夢を抱かないでいるのは、青春時代にふさわしくないでしょう。可能性を広げ伸ばす源泉は夢にあります。



昨年の新語・流行語年間大賞に選ばれたのは、大谷翔平選手の「リアル二刀流」でした。生徒には2学期終業式の話でも少し触れたのですが、野球界の既成概念を打ち壊した快挙に勇気や希望をもらった人も少なくないと思います。その大谷選手が高校時代に作成したという目標達成シート（マンダラチャート）もまた世に広く知られるところのものです。いわゆる夢の実現のための設計図です。やるべきことを定めて可視化し、それをひたむきに実践し、自分の可能性を伸ばしていく拠り所になったものです。温めているだけでは夢は実現しません。やはり、成し遂げるには何をやっていけばよいのか、それを具体的に知って努力に変えることが必要です。学校も同様です。大仁中には生徒の「夢を拓く」という夢があります。具体的には、「自分で考え、判断・決定できる生徒」「自分の成長を実感できる生徒」「自分の可能性を伸ばせる生徒」——を育てたいという夢が。3学期が始まって間もないわけですが、本年度の学校評価の検証を基に、来年度の設計図づくりに着手したところですが、夢の実現に向けた手立てを生徒自ら考えて決定し、実践していけるようになれば、これ以上幸せなことはありません。

令和4年が始まりました。大中生一人一人が夢の実現に向けて学校生活を謳歌できるよう、職員一同邁進する所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。<文責：校長>

☆それぞれの夢へ 第一歩！

高校受験に向けて面接指導を実施しました。本番さながらの面持ちで、真剣に取り組んでいました。指導終了後は、一気に緊張の糸が途切れ、「こんなに緊張するなんて。言葉が全然出てこなかった。」「話しているうちに分からなくなってしまって…。同じことを何度も言ってしまった気がする。」などと興奮気味に自分を振り返る姿が印象的でした。きっと、今回感じたこと、学んだことを生かし、本番には自信をもって臨めることと思います。がんばれ、3年生！



2年生は、修学旅行に向けた学習のスタートにあたり、近畿日本ツーリストの方を迎えて講話をいただきました。楽しく、充実した修学旅行になるように、これから事前学習をしっかり積み上げていきます。感染状況が落ち着き、無事実施できることを心から願うばかりです…！



1年生は、雨天のため延期となっていた学年レクを行いました。学級対抗で、借り物競走や台風の目を取り入れたリレーを行いました。学年委員を中心に、仲間づくり、思い出づくりにぴったりの学年行事でした。中学に入学してから新しい経験をいろいろ積み重ね、すっかり中学生らしく、たくましくなりました。

☆感染症拡大防止に向けた対応について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校においても再度気を引きしめて対策をしていきます。ご家庭においては、毎日の健康観察の徹底をお願いします。カードは保護者確認の上で記入していただき、一つでも〇が付く場合には、出席停止とします。近隣での感染拡大も懸念されるところです。放課後や休日の過ごし方等にもご配慮ください。

☆部活動 ～すてきな演奏を響かせました～

【吹奏楽部】アンサンブルコンテスト東部地区大会



Sax 4重奏 銀賞
金管8重奏 銅賞